

令和元年度後期 学生による授業評価アンケート集計結果

1. アンケート実施概要

(1) 目的

授業評価アンケートは、次の①～③を基本原則とし、本学の教育の質・教育効果を向上させることを目的として実施した。

- ① カリキュラムの改善につなげる
- ② 授業の改善につなげる
- ③ 透明性を高める

(2) 実施期間

中間： 令和元(2019)年11月13日(水)～12月3日(火)

期末： 令和2(2020)年1月10日(金)～2月14日(金) (※集中講義は別途実施)

(3) 実施科目

令和元年後期は579科目が開講され、実施対象科目233科目に対し、221科目(94.8%)に期末アンケートを実施した。回答率は82.6%と前年同期(81.6%)をわずかに上回る結果となった。

概ねほとんどの科目の回答率が上昇している一方で、地域科目は4ポイント減少している。また人間学科目については依然として他の科目に比べて回答率が低く、実施率も90%を下回る結果となった。

今後、継続して授業評価アンケートを実施し、抽出された要点が今後の授業改善に反映されることを提示することで、学生にとって授業評価アンケートが有効であること浸透させる必要がある。

科目区分	開講科目	実施対象科目	実施科目	アンケート実施率	アンケート実施科目			※前年同期 回答率
					受講登録者数	回答数	回答率	
環境科学部	100	54	51	94.4%	2,386	1,951	81.8%	76.2%
工学部	72	32	31	96.9%	1,825	1,418	77.7%	77.0%
人間文化学部	169	65	61	93.8%	2,608	2,168	83.1%	82.4%
人間看護学部	18	8	8	100.0%	594	566	95.3%	94.5%
全学共通教育	197	56	54	96.4%	1,789	1,601	89.5%	86.7%
人間学	16	14	12	85.7%	1,123	836	74.4%	72.6%
地域科目	7	4	4	100.0%	407	326	80.1%	84.2%
合計	579	233	221	94.8%	10,732	8,866	82.6%	81.6%

(4) 設問内容

【あなた自身について】

設問1 シラバス(講義概要)を読んで内容を理解した上で受講しましたか。

- ①全く読まなかった ②あまり理解していなかった ③ある程度理解した ④きちんと理解した

設問2 この授業について授業時間外で学習しましたか。

- ①全く取り組まなかった ②あまり取り組まなかった ③ある程度取り組んだ ④かなり取り組んだ

設問3 授業に集中して受講できましたか。あるいは授業に意欲的に取り組みましたか。

- ①全くできなかった ②あまりできなかった ③ある程度できた ④かなりできた

設問4 あなたは、この授業の到達目標を達成できたと思いますか。

- ①全く達成できなかった ②あまり達成できなかった ③ある程度達成できた ④よく達成できた

【授業について】

- 設問5 担当教員から授業の進め方や目標、成績評価の方法と基準について説明がありましたか。
①全く説明されなかった ②あまり説明がなかった ③ある程度説明があった
④しっかりと説明があった
- 設問6 話し方(スピード、声の大きさ)は明瞭で聞き取りやすかったですか。
①かなり聞き取りづらかった ②聞き取りづらい時があった ③問題なく聞き取れた
④とても聞き取りやすかった
- 設問7 板書やパワーポイント等の視覚情報はわかりやすかったですか。
①かなりわかりにくかった ②わかりづらい時があった ③わかりやすかった
④とてもわかりやすかった
- 設問8 教科書や講義資料などは、授業内容を理解するのに役立ちましたか。
①全くそう思わない ②あまりそう思わない ③ややそう思う ④とてもそう思う
- 設問9 教員は授業期間中に小テストやレポートあるいはレスポンスペーパーや質問などで学生の理解度を適宜確認していましたか。
①全く確認していない ②あまり確認していない ③ときどき確認していた ④頻繁に確認していた
- 設問10 授業の進め方はどうでしたか。
①遅いと感じた ②速いと感じた ③だいたい適切だったと思う ④とても良かったと思う
- 設問11 この授業は、総合的に判断して満足のできる授業でしたか。
①満足していない ②あまり満足していない ③やや満足している ④とても満足している
- 設問12 この授業を受講して、その分野を今後も継続して勉強してみたいと思いましたか。
①全く思わなかった ②あまり思わなかった ③ある程度思った ④強く思った
- 設問13 この授業でよかった点を記述してください。(自由記述)
- 設問14 この授業で改善して欲しい点を記述してください。(自由記述)

2. アンケートの集計結果

(1)平均ポイント(学部等別)

…最高

…最低

アンケート項目	環境	工	人文	人看	全共	人間学	地域	全体
Q1. シラバスの内容の理解 (標準偏差)	2.82 0.72	2.66 0.75	2.95 0.68	2.73 0.79	2.72 0.83	2.83 0.76	2.88 0.66	2.80 0.74
Q2. 授業時間外学習 (標準偏差)	2.67 0.79	2.84 0.67	2.52 0.82	2.99 0.71	2.81 0.80	2.50 0.83	2.62 0.82	2.71 0.78
Q3. 授業への集中度、意欲 (標準偏差)	3.02 0.62	2.89 0.64	3.05 0.60	3.06 0.59	3.10 0.62	2.92 0.69	2.93 0.67	3.00 0.63
Q4. 到達目標の達成 (標準偏差)	2.87 0.57	2.80 0.61	2.95 0.52	2.97 0.56	2.96 0.61	2.84 0.65	2.92 0.64	2.90 0.59
Q5. 授業の進め方、成績評価等の説明 (標準偏差)	3.24 0.60	3.17 0.59	3.22 0.62	3.31 0.59	3.20 0.64	3.12 0.66	3.17 0.68	3.20 0.63
Q6. 話し方(スピード、声の大きさ等) (標準偏差)	3.18 0.66	3.12 0.64	3.23 0.65	3.11 0.71	3.12 0.73	3.12 0.70	3.10 0.67	3.14 0.68
Q7. 視覚情報(板書、スライド等) (標準偏差)	3.04 0.73	2.97 0.73	3.05 0.72	3.05 0.69	3.00 0.70	3.06 0.71	2.85 0.74	3.00 0.72
Q8. 講義資料(教科書、資料等) (標準偏差)	3.23 0.65	3.13 0.65	3.32 0.61	3.32 0.61	3.17 0.68	3.10 0.68	3.13 0.69	3.18 0.65
Q9. 学生の理解度の確認 (標準偏差)	3.36 0.72	3.32 0.68	3.27 0.84	3.51 0.64	3.28 0.75	3.22 0.79	3.48 0.68	3.35 0.73
Q10. 授業の進め方 (標準偏差)	3.11 0.65	3.04 0.61	3.19 0.61	3.18 0.66	3.10 0.70	3.14 0.62	2.92 0.89	3.10 0.68
Q11. 総合的な満足度 (標準偏差)	3.15 0.67	3.07 0.65	3.27 0.62	3.23 0.65	3.13 0.69	3.10 0.67	3.08 0.73	3.15 0.67
Q12. 当該分野への興味・関心 (標準偏差)	2.92 0.72	2.89 0.69	3.07 0.62	3.07 0.73	2.91 0.74	2.86 0.75	2.80 0.79	2.93 0.72

(2)平均ポイント(学年別)

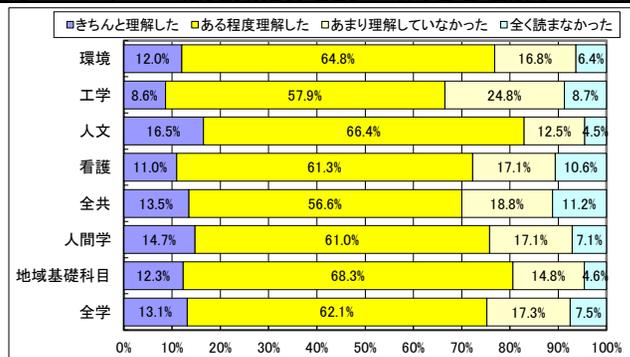
アンケート項目	1年	2年	3年	4年	全体
Q1. シラバスの内容の理解 (標準偏差)	2.76 0.78	2.82 0.73	2.89 0.71	2.99 0.80	2.86 0.75
Q2. 授業時間外学習 (標準偏差)	2.72 0.83	2.67 0.78	2.64 0.80	2.75 0.72	2.69 0.78
Q3. 授業への集中度、意欲 (標準偏差)	3.02 0.64	2.98 0.63	3.04 0.59	3.09 0.74	3.03 0.65
Q4. 到達目標の達成 (標準偏差)	2.90 0.59	2.88 0.58	2.96 0.54	2.93 0.67	2.92 0.60
Q5. 授業の進め方、成績評価等の説明 (標準偏差)	3.19 0.64	3.20 0.61	3.22 0.61	3.54 0.57	3.29 0.61
Q6. 話し方(スピード、声の大きさ等) (標準偏差)	3.13 0.69	3.14 0.69	3.24 0.61	3.41 0.64	3.23 0.66
Q7. 視覚情報(板書、スライド等) (標準偏差)	2.99 0.73	3.00 0.72	3.07 0.69	3.27 0.73	3.08 0.72
Q8. 講義資料(教科書、資料等) (標準偏差)	3.19 0.69	3.19 0.63	3.26 0.61	3.42 0.59	3.27 0.63
Q9. 学生の理解度の確認 (標準偏差)	3.27 0.80	3.35 0.74	3.31 0.76	3.51 0.68	3.36 0.74
Q10. 授業の進め方 (標準偏差)	3.10 0.68	3.11 0.65	3.17 0.59	3.33 0.65	3.18 0.64
Q11. 総合的な満足度 (標準偏差)	3.15 0.68	3.13 0.67	3.21 0.61	3.43 0.59	3.23 0.64
Q12. 当該分野への興味・関心 (標準偏差)	2.94 0.74	2.94 0.69	3.02 0.65	3.01 0.76	2.98 0.71

(3) 回答者数

所属	1年	2年	3年	4年	その他	無回答	合計
11 環境生態学科	217	149	77	1	0	3	447
12 環境政策・計画学科	239	262	62	4	0	3	570
13 環境建築デザイン学科	221	308	123	7	0	8	667
14 生物資源管理学科	367	358	73	10	0	14	822
21 材料科学科	424	265	116	22	1	17	845
22 機械システム工学科	420	176	133	22	0	14	765
23 電子システム工学科	464	157	123	6	6	7	763
30 地域文化学科	290	364	210	27	1	17	909
33 生活デザイン学科	196	125	103	7	1	13	445
34 生活栄養学科	231	136	171	4	0	17	559
35 人間関係学科	233	213	106	1	5	11	569
37 国際コミュニケーション学科	280	80	229	38	20	22	669
41 人間看護学科	432	433	47	0	0	49	961
その他	0	2	4	1	16	0	23
無回答	22	34	21	3	7	44	131
合計	4,036	3,062	1,598	153	57	239	9,145

(4) 項目別結果 — 開講科目の所属区分別 —

設問1 シラバス(講義概要)を読んで内容を理解した上で受講しましたか。

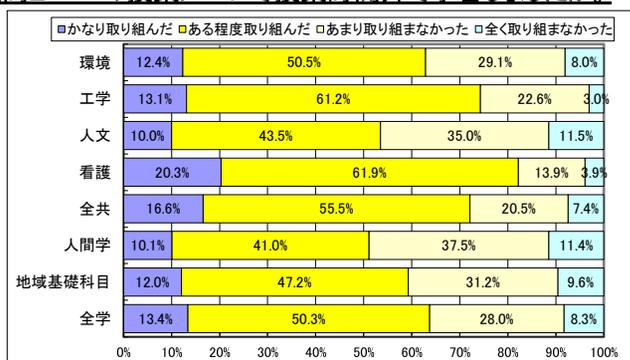


全学平均では、7割以上が「理解した」と回答している。人間文化学部科目においては、8割以上の学生がシラバス(講義概要)を読んだうえで受講している。

しかし前年同期(83.9%)と比較すると8ポイントも減少している。また科目により差があることや、「全く読まなかった」という回答も一定数ある。

引き続き、全学においてシラバス(講義概要)の有効性を示し、講義概要を理解したうえで、受講に臨む姿勢の定着を促進する必要がある。

設問2 この授業について授業時間外で学習しましたか。

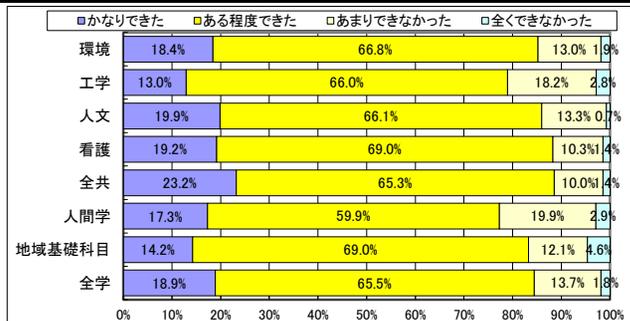


全学平均は「取り組んだ」という回答が前年同期(69.3%)に比べて5ポイント程度減少している。学部別に着目すると、例年に同じく人間看護学部科目、工学部科目の順に多く、両者ともに10ポイント以上上回る。

「取り組まなかった」という回答の全体平均は前年同期(6.4%)から増加。特に人間学科目の「あまり取り組まなかった」という回答は15ポイント増の著しい結果となった。

授業外学習が少ない科目を先頭に、課題の充実化を図るほか、授業外学習を促す宿題プログラムのさらなる浸透化が必要とされる。

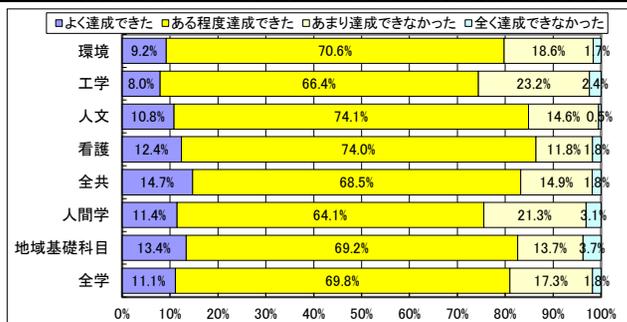
設問3 授業に集中して受講できましたか。あるいは授業に意欲的に取り組みましたか。



全体として8割以上が「できた」と回答している。特に人間看護学部および全学共通科目については9割近い数値となっている。

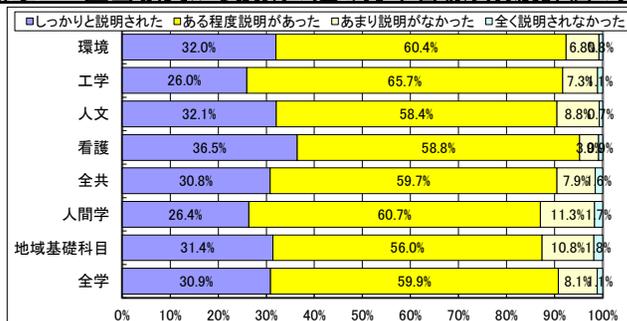
設問1、2よりシラバス(講義概要)の読み込み・理解、時間外学習の減少が伺える一方、授業における集中力や意欲性は依然として安定していることが明らかである。

設問4 あなたは、この授業の到達目標を達成できたと思いますか。



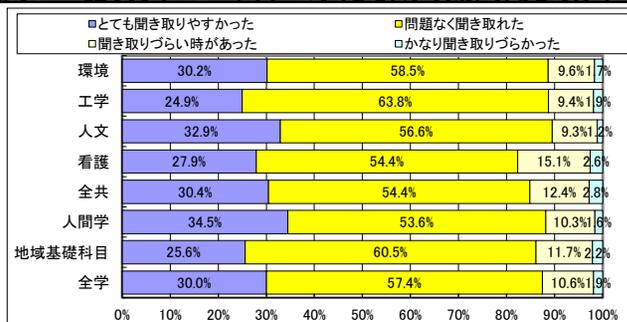
全学平均では、8割超が「達成できた」と回答している。人間文化学部科目および人間看護学部科目は、前年に引き続き安定した数値を保っている。
また全学平均を下回る工学部科目も、前年同期(71.4%)から3ポイントの上昇がある。

設問5 担当教員から授業の進め方や目標、成績評価の方法と基準について説明がありましたか。



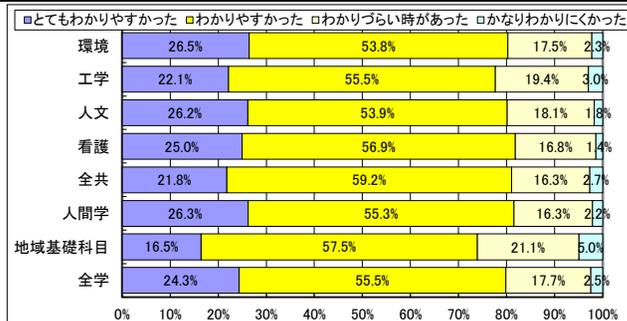
全学平均は9割程度が「説明された」と回答している。
特に人間看護学部科目(97.3%)については、「しっかりと説明された」という割合がわずかに減少するも、「説明された」という数値としては前年値(93.8%)からさらに3ポイント上昇している。

設問6 話し方(スピード、声の大きさ)は明瞭で聞き取りやすかったですか。



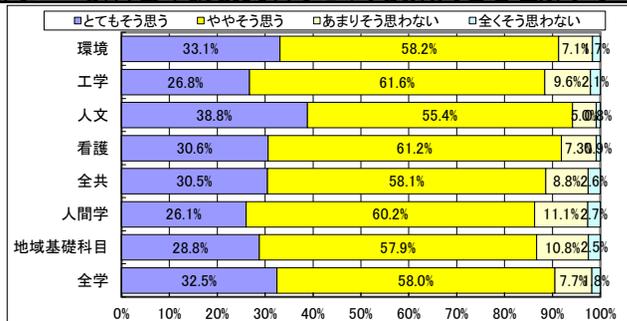
全学平均としては8割強が「とても聞き取りやすかった」「問題なく聞き取れた」と回答している。学部ごとのばらつきも小さくなり、地域基礎科目は86.1%と前年(77.6%)より8ポイント上昇している。

設問7 板書やパワーポイント等の視覚情報はわかりやすかったですか。



全学平均では前年同期(82.2%)から3ポイント程度減少するも、学部間のばらつきや回答割合が近似し、全学として安定した視覚情報の提供が実現できていると考えられる。
引き続き、学生が授業理解を深められる教材の提供に期待されたい。

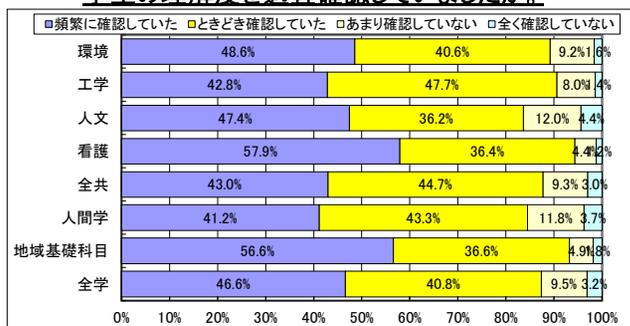
設問8 教科書や講義資料などは、授業内容を理解するのに役立ちましたか。



全学平均で9割が「そう思う」と回答している。設問7において、前年との比較に3ポイントの差があるのに対し、講義資料については前年の全学平均(91.4%)に対して1ポイント差に留まっている。

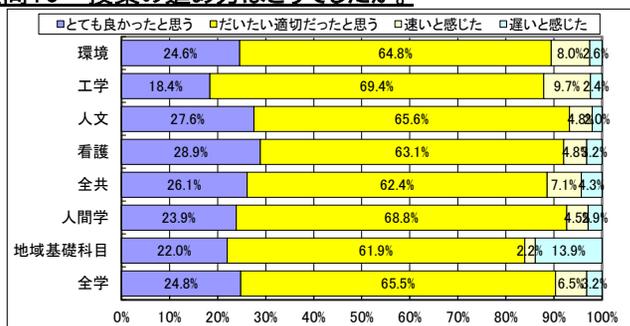
教科書や講義資料は、板書やパワーポイント同様に授業理解度を高めるために有効であるため、現状の満足度を安定させる必要性が高い。

設問9 教員は授業期間中に小テストやレポートあるいはレスポンスーパーや質問などで学生の理解度を適宜確認していましたか。



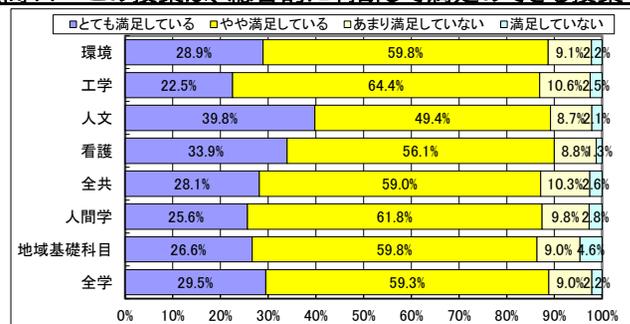
8割強が「確認していた」と回答している。一番低い人間文化学部科目でも83.6%であり、授業期間中に課題等を以て、学生の理解度が逐次確認されていたことがわかる。

設問10 授業の進め方はどうでしたか。



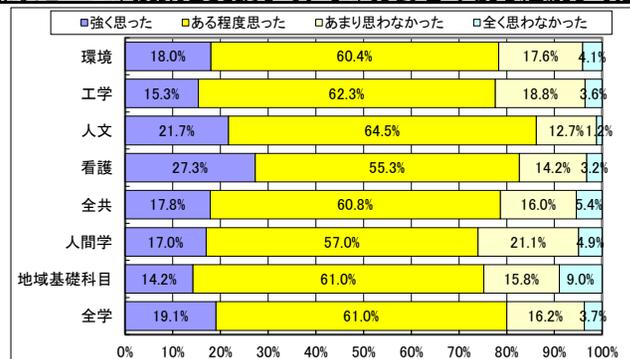
9割が「とても良かったと思う」「だいたい適切だったと思う」であり、全学として授業進行に対する満足度が高いことがわかる。また工学部科目では、「速い」と感じる学生が前年11.1%だったのに対し、今年度は9.7%と1割を下回ったため、工学部全体として改善がうかがえる。一方で地域基礎科目では「遅い」と感じる学生が前年に引き続き1割程度いる。

設問11 この授業は、総合的に判断して満足のできる授業でしたか。



8割強の学生が「満足している」と回答している。人間学科目については前年「とても満足している」という回答が6割近くあったもの、今年は2割半にまで下がっている。ただし「満足していない」という回答に差はない。大学全体の授業に対する総合的な満足度は安定している。この状態を継続し、さらに満足度を高めていくことが肝要である。

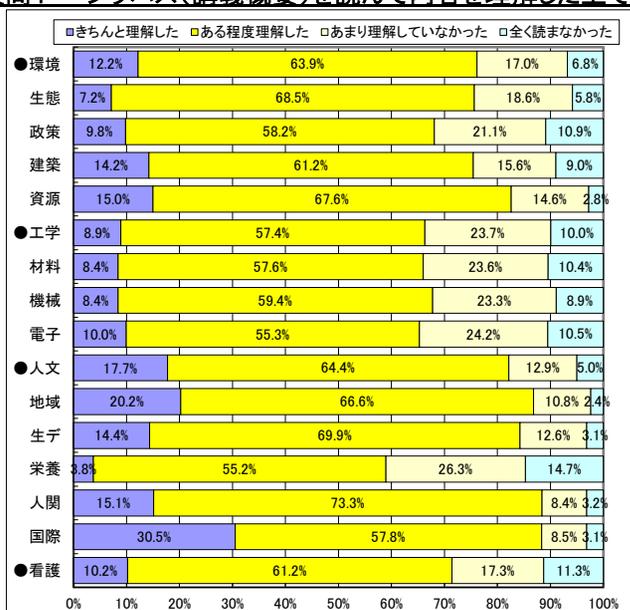
設問12 この授業を受講して、その分野を今後も継続して勉強してみたいと思いませんか。



8割の学生が、今後も継続して当該分野の学習を深めたいと考えていることがわかる。特に人間看護学部科目については3割近い学生が「強く思った」とかなり意欲的な意見がみられた。一方人間学科目では2割の学生が「あまり思わなかった」という意見を表出している。全体としても2割近い学生が継続して勉強することに消極的であることから、大学全体で学生の学習意欲をより高める取り組みが必要と考察される。

(5) 項目別結果 — 回答者の所属学科別 —

設問1 シラバス(講義概要)を読んで内容を理解した上で受講しましたか。

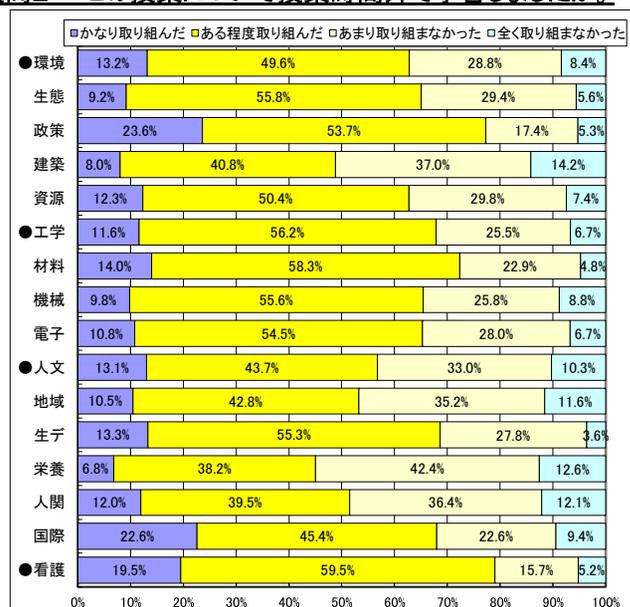


前年同期よりも所属学科によりばらつきがみられる。「きちんと理解した」「ある程度理解した」の合計ポイントが最高88.4%(人間関係学科)であるのに対し、最低は59.0%(生活栄養学科)と、前年値72.3%を13ポイント下回った。

生活栄養学科では、学生の多くが栄養士免許の取得、管理栄養士受験資格の取得を目指す。各々の取得にはシラバス(講義概要)の内容に関わらず対象科目の履修が必修となるため、学生が内容確認することが少ないことが推察される。

しかしシラバス(講義概要)を理解したうえで受講することは、授業内容の理解をさらに深めるものと期待される。低迷している学科をはじめ、全学でシラバス(講義概要)の積極的な活用が重要と思われる。

設問2 この授業について授業時間外で学習しましたか。

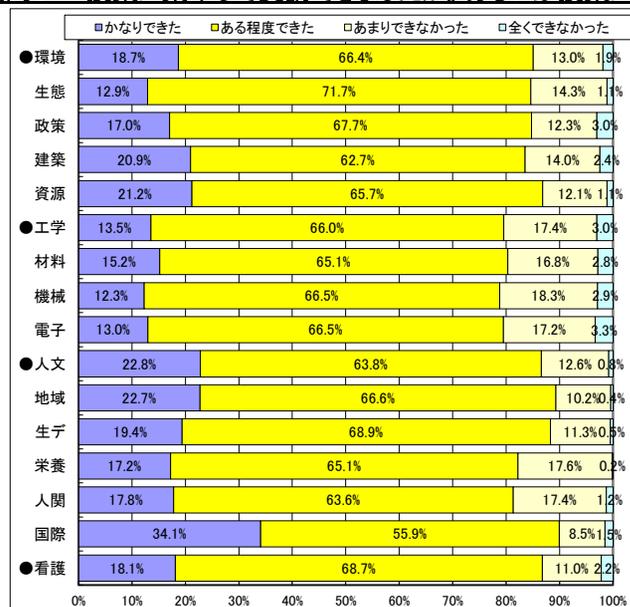


所属学科により回答にばらつきがあり、「かなり取り組んだ」「ある程度取り組んだ」の合計ポイントが最高で79.0%(人間看護学科)と8割近い学科があるのに対し、5割を切る学科もある(建築デザイン学科48.8%、生活栄養学科45.0%)。

また学科によっては「全く取り組まなかった」という回答者が1割を超える学科が複数ある。

時間外学習は課題に取り組んで受講内容を振り返るほか、自ら追究するうえでも非常に有効なものであるため、大学全体で時間外学習の促進を図る必要があると考察される。

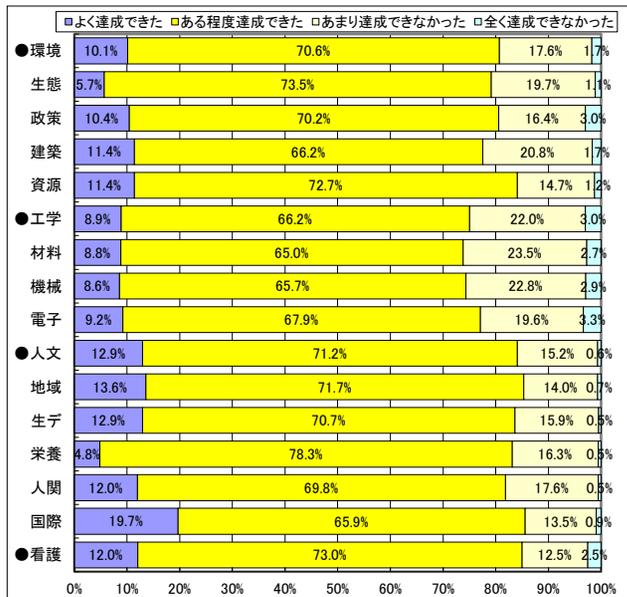
設問3 授業に集中して受講できましたか。あるいは授業に意欲的に取り組みましたか。



学科ごとのばらつきは小さく、「できた」という回答の最低値も7割強であることから、学科問わず授業への集中力は高い。特に国際コミュニケーション学科は前年に引き続き「かなりできた」との回答が3割を超え、「できた」との回答が9割に達した。

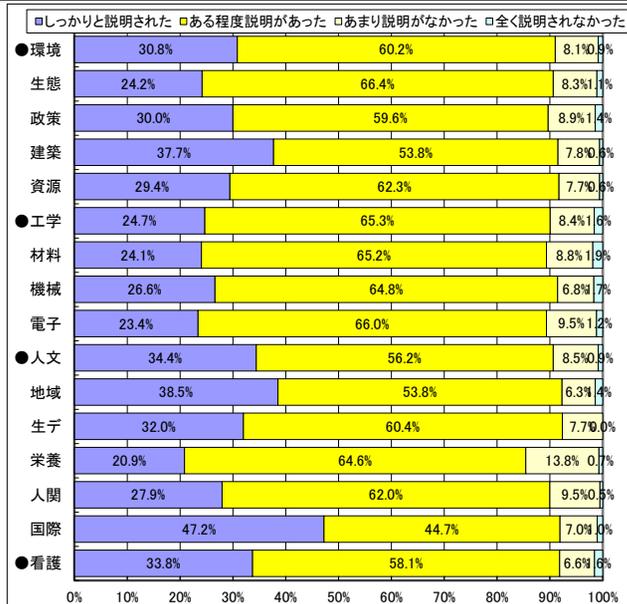
一方で「全くできなかった」という回答が、依然として環境科学部および工学部に多い。授業への集中度合を高めるような取り組みを検討していく必要があると考えられる。

設問4 あなたは、この授業の到達目標を達成できたと思いますか。



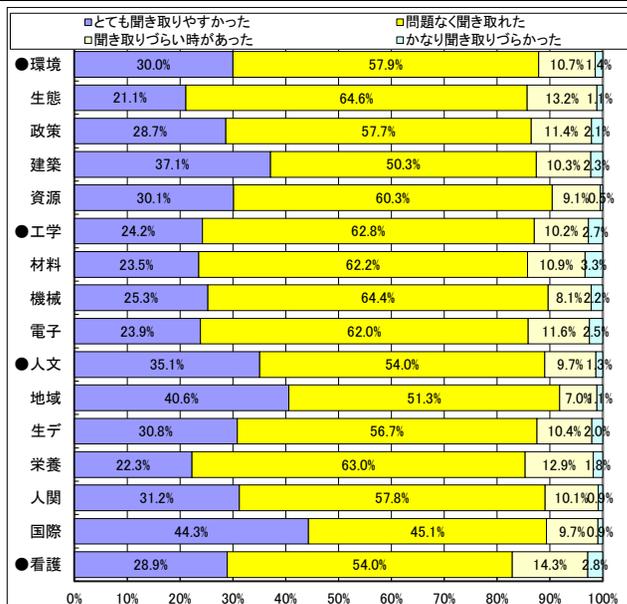
所属学科によるばらつきはそれほど大きくなく、多くの学科で8割以上の学生が、授業の到達目標を「達成できた」と実感している。一方で工学部は全体的に「達成できた」と思う回答が7割であり、これはいずれの学科も前年同期より下回る。「全く達成できなかった」と回答する学生の割合も工学部に多いため、学部通して到達目標達成を促進する取り組みを講じるのが肝要であると考えられる。

設問5 担当教員から授業の進め方や目標、成績評価の方法と基準について説明がありましたか。



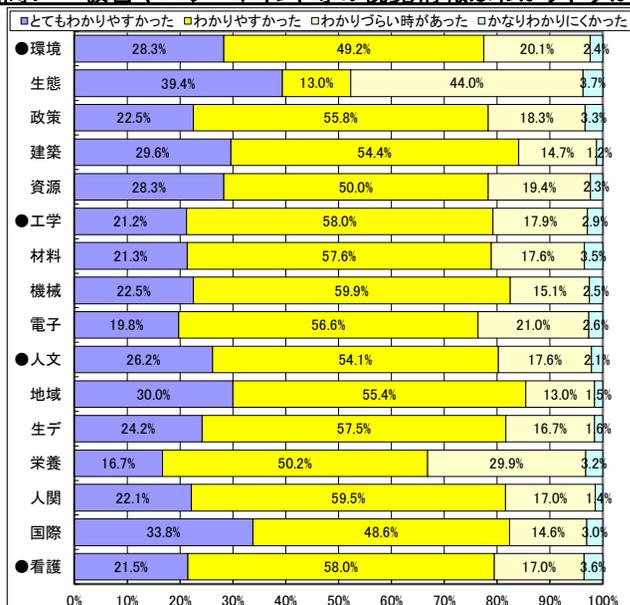
所属学科による回答のばらつきは小さく、「説明された」と回答された最高値は92.4%（生活デザイン学科）、最低値でも84.6%（生活栄養学科）と比較的高い数値となっている。今年度においては「しっかりと説明された」との回答が5割を超える学科はなかった一方で、「全く説明されなかった」という否定的な回答はいずれの学科も2%を切っている。

設問6 話し方（スピード、声の大きさ）は明瞭で聞き取りやすかったですか。



所属学科によるばらつきはそれほど大きくなく、7割以上の学生が「とても聞き取りやすかった」「問題なく聞き取れた」と回答。生物資源管理学科、地域文化学科については9割以上の学生が実感している。一方で、わずかではあるものの、全体的に「かなり聞き取りづらかった」と回答する割合が増えている。聴覚情報も授業理解に直結する部分であるため、学生が聞き取りやすい授業づくりが求められている。

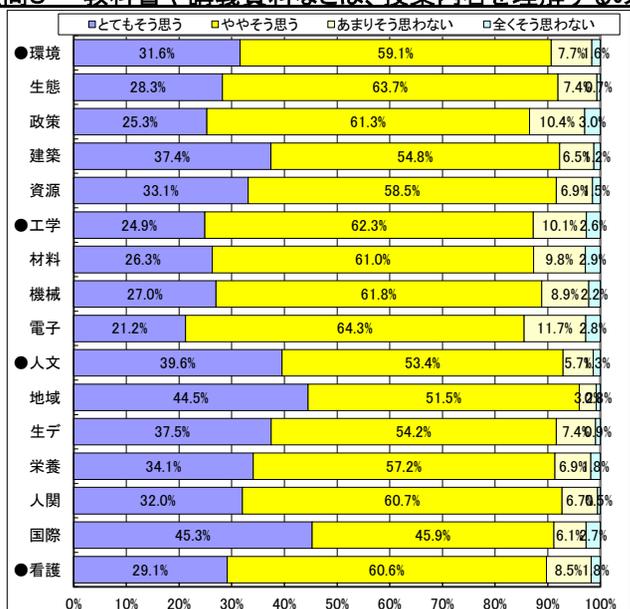
設問7 板書やパワーポイント等の視覚情報はわかりやすかったですか。



設問全体のなかでも所属学科によるばらつきが著しい。「わかりやすかった」という回答の最高値が85.4%（地域文化学科）であるのに対し、最低値は52.4%（環境生態学科）と33ポイントの差がひらいた。また環境生態学科については、前年同期（82.2%）からも30ポイント下回る結果となった。

一方で環境生態学科については「とてもわかりやすかった」と回答した割合はいずれの学科よりも高く、前年よりも上昇している。また「かなりわかりにくかった」という回答も他学科と大差ないことから、少しの工夫で「わかりやすかった」に転じる可能性が高いと推察される。

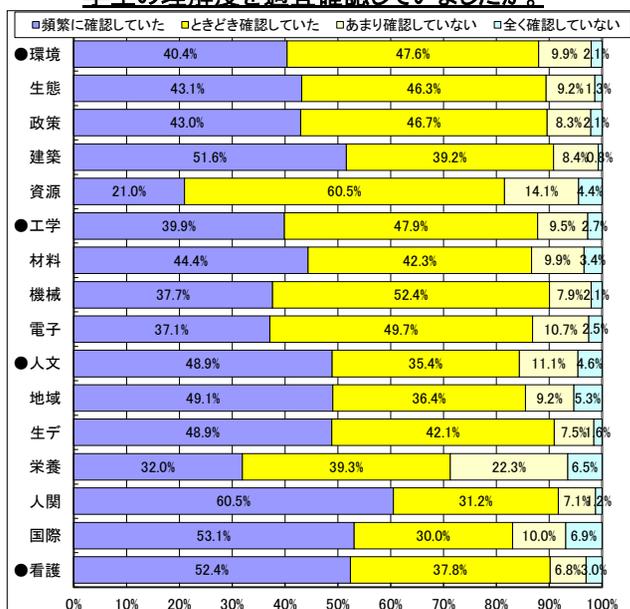
設問8 教科書や講義資料などは、授業内容を理解するのに役立ちましたか。



所属学科によるばらつきはそれほど大きくなく、8割強の学生が「とてもそう思う」「ややそう思う」の回答をしている。特に地域文化学科は96.0%とかなり高い割合である。

大学全体として教科書や講義資料の満足度は高く、学生の授業理解を高める教材として有効であることが推察される。

設問9 教員は授業期間中に小テストやレポートあるいはレスポンスペーパーや質問などで学生の理解度を適宜確認していましたか。

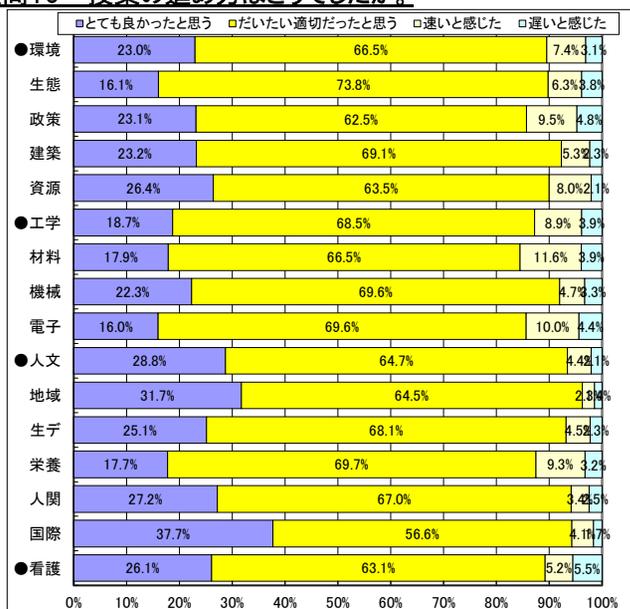


所属学科によって多少のばらつきがあるが、8割以上の学生が、理解度を「確認していた」と実感していることがうかがえる。

生物資源管理学科は「頻繁に確認していた」と感じる学生が他学科よりも少なく、前年同期より半減したが、「確認していた」という全体値は他学科と大差ない。

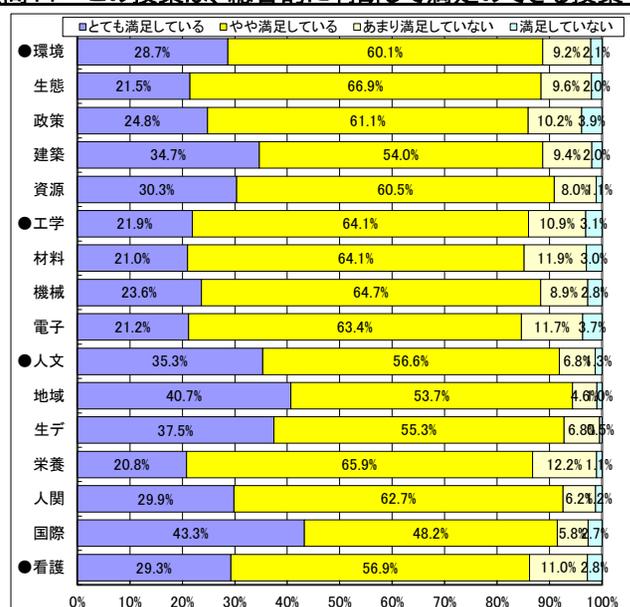
生活栄養学科については、前年に続き7割程度に留まっている。国際コミュニケーション学科、人間看護学科で「頻繁に確認していた」との回答が50%を超えており、他学科でも4割を超える学科が多く、理解度の把握が適切に行われていることが分かる。

設問10 授業の進め方はどうでしたか。



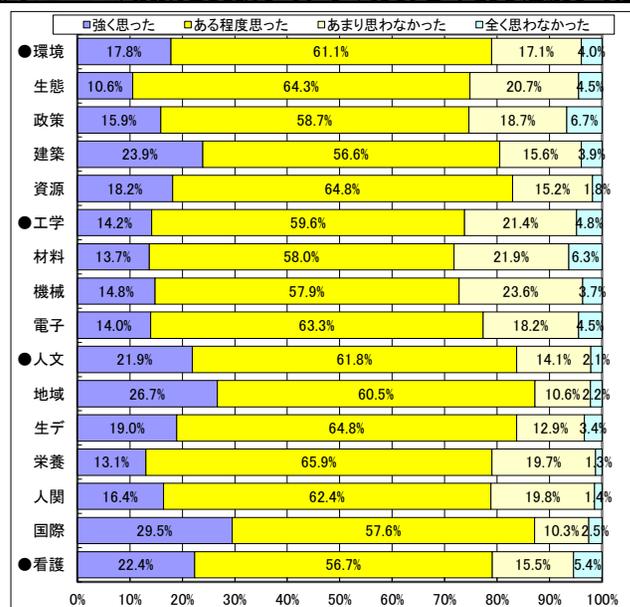
所属学科による回答内容のばらつきはほとんどなく、全学として8割以上の学生が「とても良かったと思う」「だいたい適切だったと思う」と回答している。
一方で前年同期と比較して、「遅いと感じた」と回答する割合が増加している。適切なテンポが学生の授業中における理解度や集中度に影響することが予想されるため、今後の改善に期待されたい。

設問11 この授業は、総合的に判断して満足のできる授業でしたか。



前年同期から比べて所属学科ごとのばらつきが小さくなり、安定して8割から9割程度の学生が「とても満足している」「やや満足している」と授業に対する総合的な満足度を表出している。
またほとんどの学科において「とても満足している」という数値が増加している。

設問12 この授業を受講して、その分野を今後も継続して勉強してみたいと思いませんか。



所属学科により回答内容にややばらつきがみられる。「強く思った」「ある程度思った」の回答が87.2% (地域文化学科) から71.7% (材料科学科) と15ポイントの差がある。
前年同期において材料科学学科の「あまり思わなかった」「全く思わなかった」が3割を超えていたが、今年度については27.3%と減少している。
全体としても消極的な意見は前年値より減少しているため、学生が継続して勉強したいと思えるような授業展開の定着が推測される。